

JACI/JAIMA協創プロジェクト LADS OPC UA 学習プログラム

自主学習からクライアント操作、サーバー構築へ。
3段階で無理なく、実務につながる力を身につけます。



プログラムの特長



段階的に学べる

Step 1から順に、理解と操作を積み上げます。



ハンズオンで実践

実機・ソフトを使い、自分で操作しながら学びます。



業務に結びつける

学習成果を装置連携PoCの設計・実施にそのまま活かします。

3段階の学習ステップ

Step 1

基礎理解・
環境構築

自主学習

手順書に沿って、学習環境と基礎知識を準備

JAIMA提供の環境構築手順書に従って自主学習環境を構築し、OPC UAやLADSについて自主学習します。

- 自主学習環境でのプログラム起動・接続確認
- OPC UAのサーバー／クライアント接続に関する基礎学習
- コンパニオンスペックとLADSに関する基礎学習



自分のペースで
基礎を準備

Step 2

クライアント
操作

今回募集

LADS準拠サーバーを「見る・読む・操作する」

OPC UAクライアントを使い、ノード探索からデータ取得、操作までを体験します。

- LADSの構造とノード探索
- 値・状態の読み取りとモニタリング
- Write/Method Callと複数装置演習



網羅的な演習で
実践的に習得

Step 3

サーバー
構築

2027年2月上旬
開催予定

LADS準拠のOPC UAサーバーを設計・構築

情報モデルを設計し、クライアントから接続・操作できるサーバーを構築します。

- 情報モデル/AddressSpaceの設計
- Variable/Methodの公開と実装
- セキュリティ設定と接続テスト



サーバー構築の
実践力を習得



Step 1で準備 → Step 2で使う → Step 3でつくる

LADS OPC UAの理解から、クライアント操作、サーバー構築までを一貫して学びます。

今回の募集：Step 2 クライアント操作ハンズオン

開催概要は裏面へ

Step 2 クライアント操作ハンズオン

Step 1で構築した環境を使い、LADS OPC UAの「見つける・読む・操作する」を1日で体験します。



この講座でできるようになること



構造を見つける

Device/Functionの構造をたどり、必要なノードを見つけます。



データを読む

値・状態を取得し、変化をモニタリングします。



操作する

Write/Method Callを使い、機器操作を体験します。

参加条件

- Windowsの基本操作ができること
- 自主学習環境を構築し、自主学習を行っていること
- 環境構築済みのPCを持参できること

参加前に自主学習環境の起動・接続確認をお願いします

こんな方におすすめ

- 自主学習での理解を講義で確認し、さらに実際の操作につなげたい方
- LADS準拠サーバーの確認方法を身につけたい方
- 装置連携やPoCを検討している技術担当者

当日の持ち物

- 自主学習環境構築済みノートPCとACアダプタ
- Step 1手順書

開催概要 (Step 2)

2026.11.18 (水) 10:00–17:00



会場

日本分析機器工業会
東京都千代田区神田錦町2-5-16
名古屋ビル新館6階



定員

15名程度
※申込状況により追加開催日をご案内する場合があります



受講料

JAIMA調査小委員会メンバー : 40,000円 (税込)
JACIプロジェクトメンバー : 60,000円 (税込)



形式

集合型の対面ハンズオン



申込締切

2026年10月16日 (金)



昼食

お弁当をご用意します
※アレルギーは事前にご連絡ください

受講料のお支払い方法は、申込受付後にご案内します。

お申し込み

1 受講申込書を送信

本案内に添付の受講申込書に必要事項を記入の上、JAIMA事務局
(opcua_lads@jaima.or.jp)
までメール送信 申込メールのccに chiba@jaci.or.jpを必ず入れてください

2 事務局から連絡

申込受付確認連絡とともに請求書を発行

3 受講料のお支払い

受講前に受講料を指定口座へお振込み

申込締切

2026.10.16

申込状況により追加開催日をご案内する場合があります



Step 1手順書と関連ファイルは申込者に配布連絡をいたします。